

地球環境と産業化研究会(SGEIS);初年度活動結果について

Society for Global Environment & Industrialization Studies

1. 活動概要

わが国は地球環境問題並びにエネルギー需給問題に対応するため、技術開発や導入、その促進のための制度整備などを推進し、持続可能な脱炭素社会の実現を目指しています。兵庫県では“兵庫2030年の展望（「すこやか兵庫」をめざして）”に「環境先進地」の実現を宣言し、「グリーンイノベーションの推進」に取り組んでいます。

これらの取り組みの担い手となる企業や地域などの有志が「ともに学び・協働する」場の提供と実践を目指して、令和元年5月1日に「地球環境と産業化研究会」を設立し、ひょうご環境保全創造活動支援助成金を受けて活動してきました。

2. 実施内容

年間13回の役員会など（世話人会を含む）を開催し、組織の立ち上げや行事を開催しました。

(1) 組織立ち上げ

- ・組織の目的、活動体制、活動内容、規約、細則などを決定し、基本事項を準備。
- ・ひょうご環境創造協会の助成金に応募、採択後、リーフレットを作成。
- ・2019年5月1日に「地球環境と産業化研究会」を設立後、会員の募集を開始。
- ・会員17名・賛助会員2団体、評議会委員4名（2020年1月31日現在）。

(2) 活動概要

- ・定例行事として勉強会を4回（6/21・8/19・10/2・1/15）開催。
- ・「地球温暖化」の記事などをベースに地球環境問題についてテーマを設定し、専門家の講演に加えて参加者と講師間の双方向の質疑応答時間を十分とり、テーマの深読みを目指した。
- ・特別行事として幅広い交流の推進と情報収集のため見学会を1回（10/30）開催。
- ・勉強会・見学会参加者は合計101名、情報交換会は71名。

(3) 行事一覧

講演会協力（エネルギー地産地消－シュタットベルケを学び考えよう－）；ラウパツハ教授

第1回勉強会（RE100を知って、学んで、考えよう）；豊田陽介氏

第2回勉強会（アンモニア・水素の直接燃焼利用による地球温暖化対策）；赤松史光教授

第3回勉強会（いよいよ動き出す卒FIT時代の太陽光発電と今後の動向）；中嶋明洋氏

第1回見学会（水素コージェネレーション施設）；川崎重工様

第4回勉強会（わが国のエネルギー選択－どうあるべきか考えてみよう！）；久保はるか教授

3. 活動結果

当該の組織を立ち上げ、勉強会や見学会などを開催することで、地域や企業などの有志との地球環境問題を学ぶ機会が創出され、「環境先進地」の実現に向けた「グリーンイノベーションの推進」への取り組みの輪を広げていく第一歩となりました。

・勉強会や見学会のアンケート回答者ほぼ全員から、各回の内容と運営についてともに「良かった」以上の評価をいただいた。

- ・勉強会終了後の情報交換会は、短時間の立食形式として、参加しやすく、名刺交換・意見交換が活発にできるよう工夫した。
- ・神戸地域ビジョン委員会（地球いたわりグループ）と連携し、神戸市民に対する地球温暖化防止の理解を深める啓発活動を実施した。
- ・勉強会の参加者が定員より多くなる傾向にある。その結果、勉強会として重視したい「ディスカッション（意見交換）による深掘りの場」としての参加者の発言機会が少なくなった。
- ・幅広い年齢層からの参加を期待したが、若者や学生などの参加が少なかった。なお、第4回勉強会では、学生の参加費無料とし3名の参加があった。

4. 今後の計画

- ・継続して、勉強会、見学会、セミナーなどを定期的を開催すると共に、ディスカッションと深掘りし易い環境作りを、改善・改良しながら推進する。
- ・新たに、少人数の学習会など、若年層が参加しやすい場を検討する。
- ・他団体との連携を進める（神戸地域ビジョン、未来エネ研、日報ビジネスなど）。
- ・情報発信のため、会報誌の発行やホームページの開設などを検討。
- ・ひょうご環境保全創造活動支援助成金を継続的に活用する。

<写真集>

